



日頃からの地震への備え

南海トラフを震源とする大地震は、

- 今後30年以内の発生確率が60%から70%程度
- 地震の規模はM8からM9と推定されています。

こうした大規模地震には日頃からの備えが重要です！！

日頃からできる「地震への備え」って何だろう？



- ① 地震が起きてもあわてないように、「地震が起きた場合に家族がどのように連絡を取り合うか」「避難経路や避難場所はどこなのか」・・・など、普段から家族で話し合っておきましょう。

- ② 家具を固定したり、ガラス扉に飛散防止フィルムを貼るなど、地震が発生した時に家の中でケガをしない対策も有効です。
- ③ 地域の危険箇所や避難場所などを確認し、防災に関する知識を身につけましょう。



知ってますか？ 防災関係の日

もしも地震が起きたら・・・



1 万が一地震が発生した場合は、まず落ち着いて身の安全を確保することが大切です。

- ① 建物の中にいる場合は、机やテーブルの下に身を隠して、揺れによる落下物から身体を守りましょう。
- ② 建物の外にいる場合は、看板や建物の外壁、ガラス窓、瓦などが落ちてくるかもしれません。カバンなどで頭を守りながら、安全な場所へ逃げましょう。
- ③ 自動車に乗車中の場合、車両は路肩に停車してエンジンを切り、車に鍵をつけたまま、歩いて安全な場所へ避難しましょう。建物の倒壊などで道路が通行できない場合や、緊急車両の通行の妨げとなる場合があるので、車での避難はやめましょう。



2 あわてず火の始末をしましょう。



地震で火災が起きると、さらに被害が大きくなります。しかし無理に消そうとすると、火傷したりケガしたりする原因になりますので、ゆれが落ち着いてから消火しま

3 できるだけ早く安全な場所へ避難しましょう



地震が起きると、建物の倒壊・火災、がけ崩れなどによる危険が迫ってきます。近くの避難場所へすぐに避難しましょう。
また、海や川の近くでは津波が襲ってくることもありますので、揺れがおさまったら高台や3階建て以上の鉄筋コンクリート造りの建物へ避難しましょう。



4 ラジオや防災無線で正しい情報をつかみましょう



大規模地震の発生後は、デマ情報やうわさが飛び交うことがあります。ラジオや防災無線の情報など、最新の正確な情報をつかむことが大切です。

地震が発生した場合は、警察署または交番・駐在所に被害状況等の情報をお寄せ下さい！！